

その他の清掃・と畜業におけるその他の材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	8~9	工場内にて分別作業中、はねた塩ビパイプが左肩に当たり、転倒した。	63~9	1
5	9~10	粗大ごみ収集作業中、水屋箆笥のガラス戸を両手で外そうとした際に劣化したガラスが割れ、左腕に接触し負傷した。	40~99	50
6	14~15	廃棄物処理場、破碎リサイクル施設内で資源物として回収されたビンを運別台に載せ、破袋・不適物の除却を行い、コンベアに載せる作業中に、割れたビンを左手でコンベアに送り出した際に、左手人差し指を切傷した。	64~49	30
7	8~9	ゴミ集積所に於いて、収集車両へ不燃物ゴミの積込作業を行っていたところ、パッカー内で破碎されたガラス片が飛散し、その一部が被災者の左眼に当たり負傷。直ちに作業を中断。ゴミ組成に由来する危険性（破碎後の飛散等）に対する予防策を講じていなかったことや、使用者側の安全教育不足等が当該事故の主原因と史料。	50~99	50
7	10~11	事業所内に於いて、入荷した廃品物の中身を確認作業中。混入していた刃物を引き出そうとしたところ、手袋が滑り誤って刃の部分に右手人差し指が当たり負傷したもの。	25~9	1
7	9~10	ごみ置場に出されていた不燃ごみを収集しようとしたところ、ごみ袋の結び目近くをつかんだ際、そのあたりに割れたジョッキ（ガラス製）の割れた部分が上を向いた状態であったため、ジョッキの割れた部分で右示指を切った。	45~99	50

7	11～ 12	当社構内作業場において、回収した産業廃棄物を投棄用コンテナボックスに積み込み作業をしていて陶器ゴミの突起部分に左手をひっかけてしまい左手を切創した。	33 ～ 29	10 ～ 29
9	13～ 14	資源化施設にて、ベルトコンベア上の空きビンの選別作業を行っていた際に、軍手と厚手のゴム手袋を二重に装着し、割れた空きビンの破片を両手でかき集め収集箱に入れていた所、空きビンの破片が右手の親指の付け根に刺さり受傷した。	46 ～ 49	30 ～ 49
9	10～ 11	ペットボトル収集作業の為、ごみ置き場の扉を開けて足を踏み入れた時に、入り口付近にあったガラスの破片を踏んでしまい、左足かかと辺りに刺さり負傷したものである。	28 ～ 49	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html